

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平6-60077

(43) 公開日 平成6年(1994)8月19日

(51) Int. Cl.

H01R 13/64
13/639

識別記号

9173-5E
Z 9173-5E

F I

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全4頁)

(21) 出願番号 実開平5-1453

(22) 出願日 平成5年(1993)1月25日

(71) 出願人 000231073

日本航空電子工業株式会社
東京都渋谷区道玄坂1丁目21番6号

(71) 出願人 390005049

ヒロセ電機株式会社
東京都品川区大崎5丁目5番23号

(72) 考案者 建部祐

東京都渋谷区道玄坂1丁目21番6号 日本
航空電子工業株式会社内

(72) 考案者 鈴木隆男

東京都渋谷区道玄坂1丁目21番6号 日本
航空電子工業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 後藤洋介 (外2名)

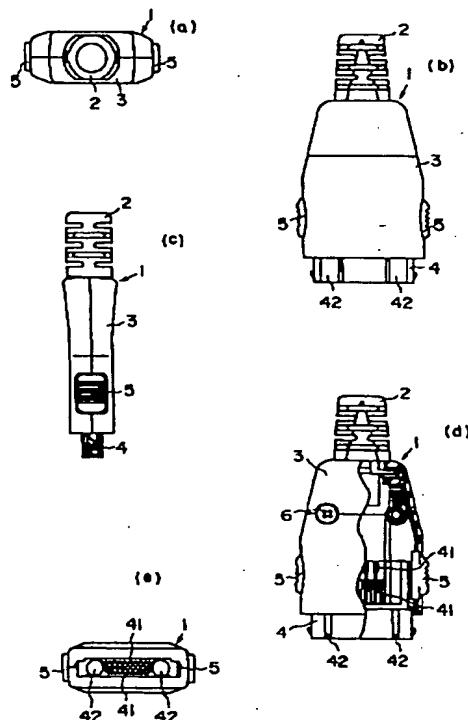
最終頁に続く

(54) 【考案の名称】コネクタプラグ

(57) 【要約】

【目的】 小型化及び多芯化を信頼性高く図り得ると共に、十分な係止強度を備えたコネクタプラグを提供するものである。

【構成】 コネクタプラグ1は、複数の信号コンタクト41を並設したインシュレータ4と、一対のフード片から成り、且つこれらの一端間にインシュレータ4を部分的に収納挟持したフード3とを備えている。インシュレータ4は、複数の信号コンタクト41における結線部の位置を互いに隣接する信号コンタクト間で相手側コネクタとの嵌合方向、及びこれに直交する方向に対してずらして配すると共に、相手側コネクタとの嵌合面の両側を切り欠いた逆差し防止用キ一部と、この逆差し防止用キ一部に隣接し、相手側コネクタを引っ掛けで係止する引掛り部を含む断面略し字型の係止スプリングとを有する。フード3とインシュレータ4とは、挟持の方向において凸部と凹部との圧入嵌合により固定される。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】複数の信号コンタクトを並設したインシュレータと、一対のフード片を組み合わせて成ると共に、該一対のフード片の一端間に前記インシュレータを部分的に収納挟持したフードとを含むコネクタプラグにおいて、前記インシュレータは、前記複数の信号コンタクトにおける結線部の位置を互いに隣接する信号コンタクト間で相手側コネクタとの嵌合方向、及びこれに直交する方向に対してずらして配すると共に、該相手側コネクタとの嵌合面の両側を切り欠いて形成した逆差し防止用キー部と、該逆差し防止用キー部に隣接して設けられ、且つ該相手側コネクタを引っ掛けで係止する引掛け部を含む断面略L字型の係止スプリングとを有することを特徴とするコネクタプラグ。

【請求項2】請求項1記載のコネクタプラグにおいて、前記フードと前記インシュレータとは、前記挟持の方向において凸部と凹部との圧入嵌合により固定されることを特徴とするコネクタプラグ。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の一実施例に係るコネクタプラグを各方向の面図により示したもので、(a)はその上面図、(b)はその正面図、(c)はその側面図、(d)はその一部を破断した背面図、(e)はその底面図である。

【図2】図1に示すコネクタプラグを構成するインシュレータを示したもので、(a)はその正面図、(b)はその側面図、(c)はその底面図である。

【図3】図2に示すインシュレータにおける要部を示したもので、(a)はその断面図、(b)はその側面図である。

【図4】図1に示すコネクタプラグにおけるインシュレータとフードとの固定を説明するために示した図である。

【図5】図1に示すコネクタプラグにおけるインシュレ

10

ータとフードの固定に関する他の例を説明するために示した図である。

【図6】従来のコネクタプラグを各方向の面図により示したもので、(a)はその上面図、(b)はその正面図、(c)はその側面図、(d)はその一部を破断した背面図、(e)はその底面図である。

【図7】図6に示すコネクタプラグを構成するインシュレータを示したもので、(a)はその正面図、(b)はその側面図、(c)はその底面図である。

【図8】図7に示すインシュレータにおける要部を拡大して示したもので、(a)はその断面図、(b)はその側面図である。

【図9】図8に示すインシュレータとは別個な他のインシュレータにおける要部を拡大して示したもので、

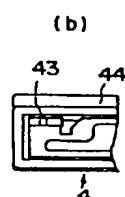
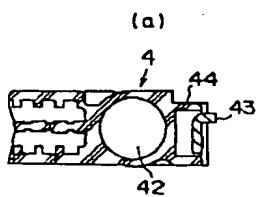
(a)はその断面図、(b)はその側面図である。

【図10】図6に示すコネクタプラグにおけるインシュレータとフードとの固定を説明するために示した図である。

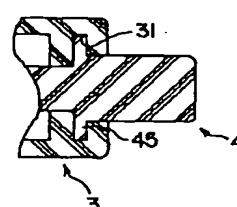
【符号の説明】

20	1, 100	コネクタプラグ
	2, 120	ケーブル支持片
	3, 130	フード
	4, 140	インシュレータ
	5, 150	把持片
	6	ネジ
	31, 33	凹部
	32, 45	凸部
	41, 141	信号コンタクト
	41a, 41b, 141a	結線部
30	42, 142	孔
	43, 143	係止スプリング
	44, 144	逆差し防止用キー部
	143a, 143b	引掛け部

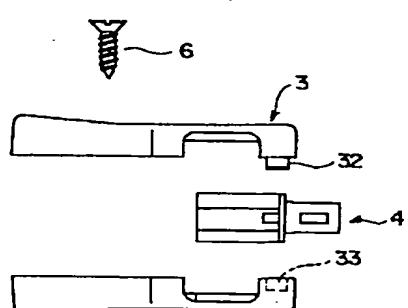
【図3】



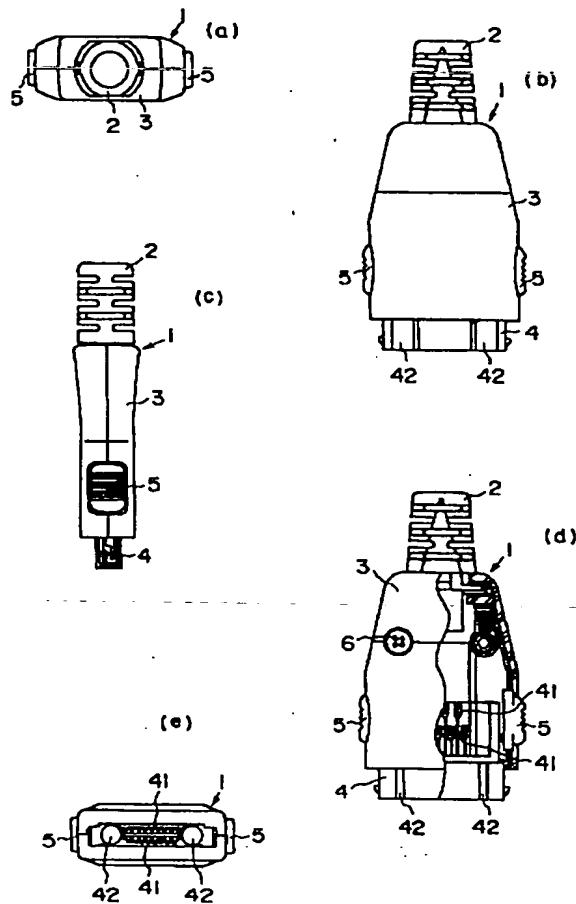
【図4】



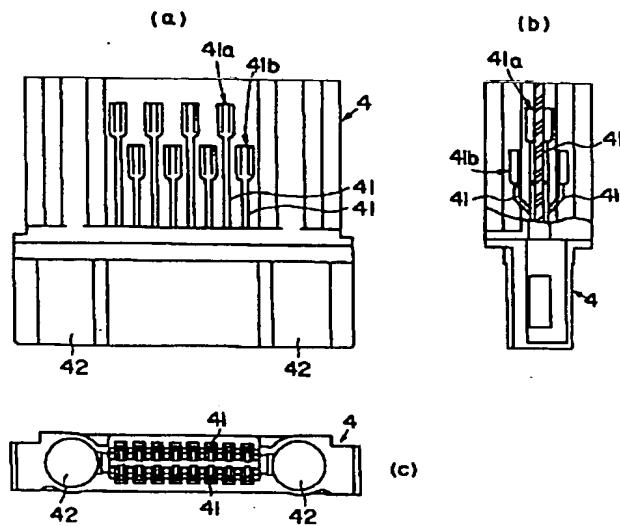
【図5】



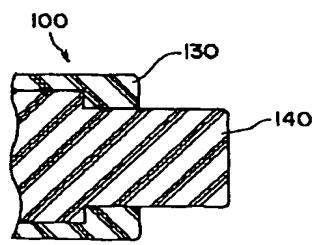
【図 1】



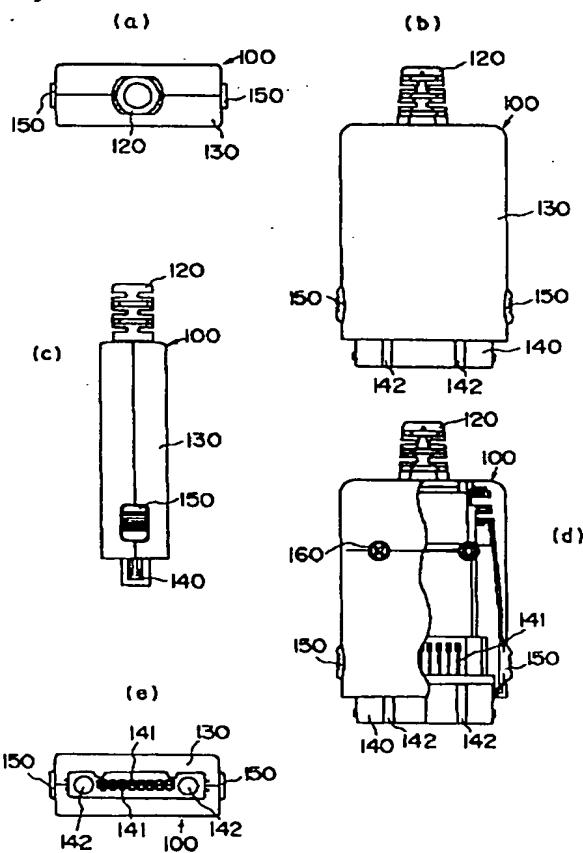
【図 2】



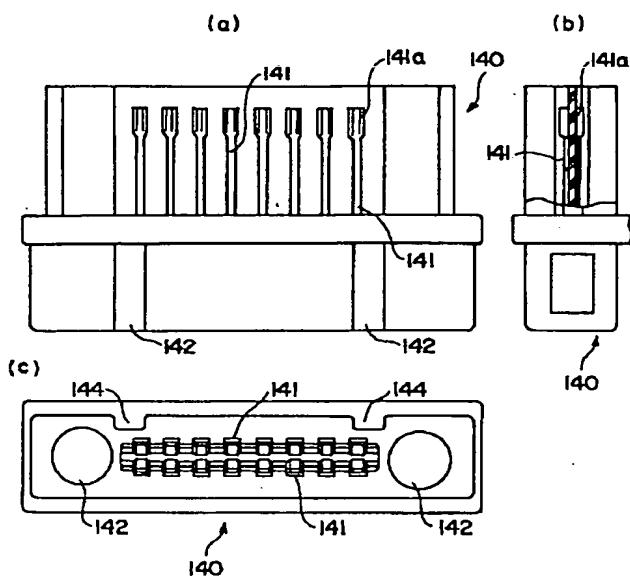
【図 10】



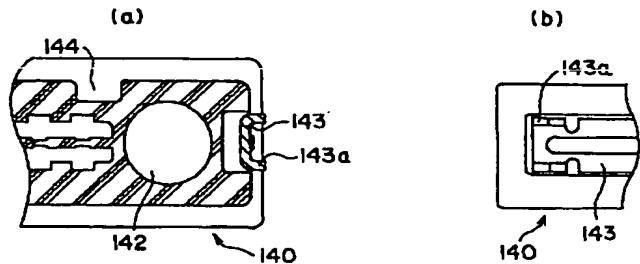
【図 6】



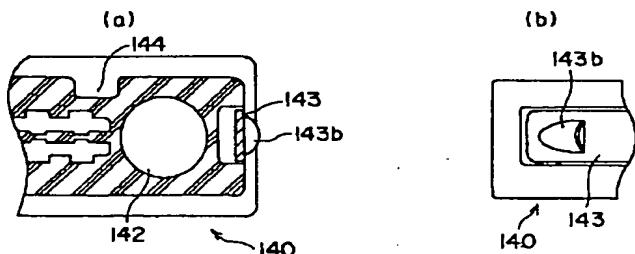
【図 7】



【図 8】



【図 9】



フロントページの続き

- (72) 考案者 中沢 ▲夾▼
 東京都品川区大崎5丁目5番23号 ヒロセ
 電機株式会社内
- (72) 考案者 鈴木 昭男
 東京都品川区大崎5丁目5番23号 ヒロセ
 電機株式会社内